

■温室効果ガス削減の目標

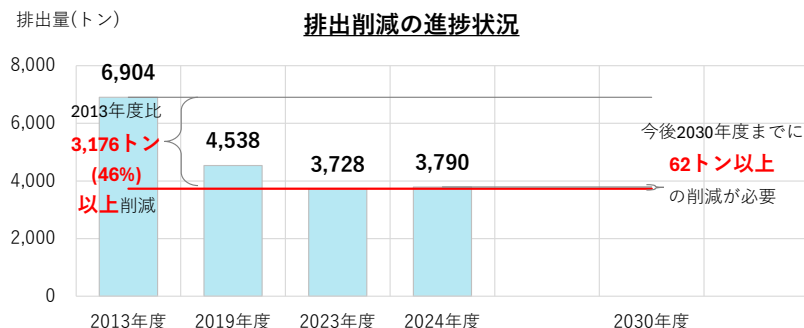
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (3,176トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

■温室効果ガス排出量の推移

宮崎空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比62トン増加の3,790トンである。
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後62トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	6,441	4,117	3,341	3,388
空港車両	464	421	387	402
計	6,904	4,538	3,728	3,790

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数… 2019年度：0.347、2023年度：0.475、2024年度：0.417
空港全体の商用電力使用量(kWh) … 2019年度：695.0万、2023年度：658.6万、2024年度：746.4万

■2020～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

宮崎空港では、2020～2024年度にかけて、商用電力使用量の増加や主に契約されている電力会社の排出係数が上昇が確認される一方で、2023年度に空港施設の化石燃料使用量の大幅な減少を背景として、2023年度に比べ2024年度の温室効果ガス排出量は若干増加しているが、全体として減少傾向にある。

■2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用、建築施設の熱負荷低減、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用等の取組が行われた。 ▶ 航空灯火のLED化の取組が行われた。
空港車両に係る取組	▶ 電動車の導入、バイオ燃料の活用が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)